

長野県公共交通活性化協議会 松本地域別部会 地域公共交通分科会資料
7. 1 2. 2 2
塩尻市建設部都市計画課

## 塩尻北部線の運行について

塩尻市で運行中の地域振興バス「すてっぷくん」塩尻北部線において、経路の見直しを行い利便性向上を図るとともに、長野県地域公共交通計画及び信州型広域バス路線支援制度の通院利用の条件に適合することを目的とします。

### 1 経過

令和3年に「塩尻市地域公共交通計画」を策定し、市街地ゾーン内の移動はオンデマンドバス「のるーと塩尻」で、市街地ゾーンと既存集落区域を結ぶ拠点間移動は「すてっぷくん」の運行により、持続可能な地域公共交通体系の実現を目指し、順次市街地の「のるーと塩尻」への転換を進めてきた。

塩尻北部線は令和6年4月1日の「のるーと塩尻」への転換に伴い休止路線としたが、「のるーと塩尻」の浸透とともに利用者が増加したことに伴い、通院時間帯の朝8時台を中心に通勤利用と重なり予約が最も集中する時間帯となり、「予約が取れない」「希望する時間に乗車できない」といった利用者からの声が多くなった。そこで「のるーと塩尻」の予約が取れない等の課題の緩和を図るため令和7年4月より休止中であった塩尻北部線の運行を再開した。

なお、再開に際しては、休止前の運行状況を鑑みて朝の通院開始に間に合う時間及び通院からの帰りを考慮したダイヤ編成とした。

### 2 塩尻北部線の必要性

塩尻北部線は塩尻市の主要幹線道路である国道19号線を運行する経路となっており、塩尻駅～まつもと医療センター（松本市）間を運行し、市内で唯一の松本市へ直接乗り入れする路線となっている。

当該路線は、まつもと医療センターは塩尻市内の医療体制では不十分な機能を充足しているため、市内から多くの利用者が通院している。また、経路沿いには大型商業施設や大企業が立ち並び通勤客等の需要も一定数ある。

まつもと医療センター利用者の多くを高齢者が占めており、最寄りのJR村井駅からは徒歩では距離があることから、まつもと医療センター終点としている。帰路については、個々の診察終了時間が異なるため、「のるーと塩尻」による個々での対応や、病院での滞在時間を最大限に考慮した「すてっぷくん」のダイヤにより品質を保証している。

このようなことから、直接まつもと医療センターへ通院が可能な公共交通網の形成は必須であり、塩尻北部線の維持は必要である。

### 3 令和8年度運行（案）

バス停	①便	②便
塩尻駅前	8:00	12:40
塩尻四つ角（歯科医院前）	8:02	12:42
えんぱーく前	8:03	12:43
塩尻郵便局前	8:04	12:44
市役所前	8:05	12:45
芝茶屋	8:12	12:52
市営球場口	8:13	12:53
広丘駅東口	8:19	12:59
吉田	8:24	13:04
教習所前	8:25	13:05
イオンタウン松本村井南	8:28	13:08
まつもと医療センター	8:29	13:09
教習所前	-	13:11
吉田	-	13:13
広丘駅東口	-	13:21
市営球場口	-	13:28
芝茶屋	-	13:29
市役所前	-	13:35
塩尻郵便局前	-	13:36
えんぱーく前	-	13:38
塩尻四つ角（歯科医院前）	-	13:39
塩尻駅前	-	13:40

※ この表以外にバス停の増設を検討しており、現在、国道19号の道路管理者である長野国道事務所と協議中である。

#### 【見直しの主旨】

県の計画にある午前中の診療開始時間に間に合い、診療終了後の午後に時間帯に帰宅できるようなダイヤ設計とし、「通院の品質が保証されている」状態を担保している。

### 4 今後のスケジュール

令和8年2月12日 塩尻市地域公共交通会議ダイヤ改正案協議

4月 1日 すてっぷくんダイヤ改正

塩尻市建設部都市計画課計画係 （塩尻市地域公共交通会議兼協議会事務局） 担当：武田、辰野、中山
---